

「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクト
平塚製造所で第3期植樹会を実施

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は11月11日（水）、神奈川県平塚市にある平塚製造所で「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの第3期植樹会を実施した。当日は南雲忠信社長、小島達成同プロジェクト担当役員、伊澤俊夫製造所長と従業員など70名が参加し、自前苗木535本を含む550本を植樹した。また、前日の10日にはハマタイト商品を製造する中原工場で第2期植樹会を開催し、従業員50名で300本を植樹した（255本が自前苗木）。

平塚製造所では「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの皮切りとして、2007年11月11日（日）に第1期植樹祭を実施。平塚市在住の河野太郎衆議院議員、大蔵律子平塚市長をはじめ、地域住民の皆さま、横浜ゴム従業員など3,500名が参加し、約27,000本を植樹した。以来、11月11日を「環境の日」と定め、植樹活動に加え、環境保護を考える様々なイベントを開催している。第3期植樹会当日には、当社の植樹活動全般を指導する宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）の講演会「いのちと心と技術を磨く工場の森づくり」を開催し、平塚製造所の新入社員や転属者のほか、近隣自治会役員の方々を含め約100名が参加した。また、各家庭で行っているエコアイデアなどを社内募集し、従業員の環境意識の向上と環境活動の共有化にも取り組んでいる。

「YOKOHAMA 千年の杜」は横浜ゴム創業100周年の2017年に向けて、およそ10年かけて国内外の全生産拠点に杜を創生するプロジェクトで2007年にスタートした。宮脇昭氏の指導の下、潜在自然植生に則った植樹活動を進め、国内7生産拠点^{*1}と海外グループ会社の11生産拠点^{*2}で約50万本を植樹する。国内は全生産拠点で第1期植樹を完了し、すでに平塚製造所、三重、尾道、三島、長野、茨城工場の6拠点で第2期を完了。海外は5生産拠点で第1期、2拠点で第2期を完了している。現在までに国内外あわせて約12万本を植樹している。

※1：平塚東工場、中原工場は平塚製造所に含み1拠点とする。新城南工場は新城工場に含み1拠点とする。

※2：中国の3グループ会社は合同開催で1拠点とする。



参加者による記念撮影（平塚製造所）



植樹の様子（中原工場）



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「ecoMOTION」と名付けています。

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株） 広報部 担当：入江
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ
 〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570